



NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

# 社団法人 長崎青年協会

社団法人  
長崎青年協会憲章

我々は会員の団結と

相互扶助の精神の基に

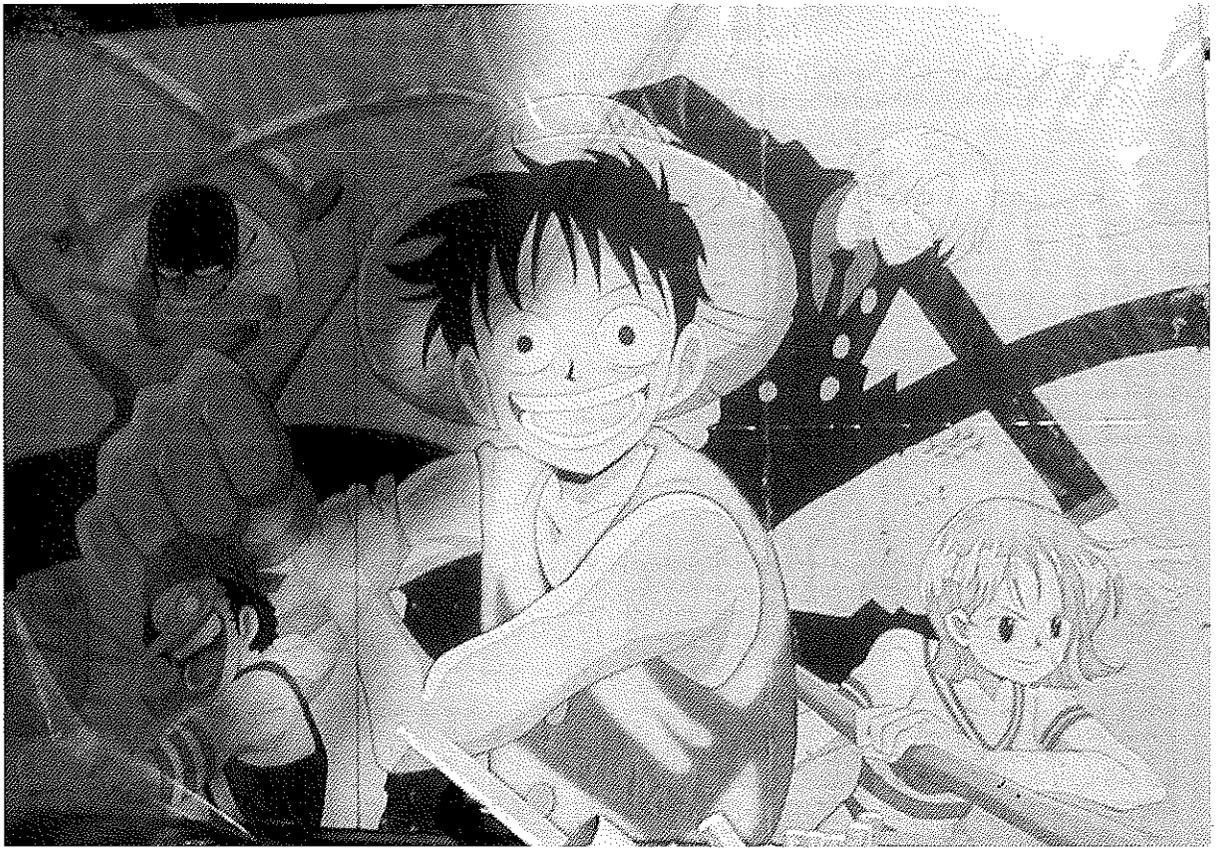
自己の建設と

会員の親睦を図り

もって地域社会の発展に

寄与する事を目的とする

## スローガン 『スクラム!』



おくんち広場のゲームブース

### — 今月の行事予定 —

4日(金) 理事会(江戸町公園)    6日(日) NYAおくんち親睦祭  
7・8・9日(月・火・水) NYAおくんち広場  
15日(火) 理事会                    21日(月) 臨時総会(ホテルニュー長崎)  
11月5日(金) 理事会    11月10日(日) 家族懇親会(市民の森)

### — 今月度事務局清掃担当委員会 —

全 員

### — 今月の二次懇親会担当委員会 —

総務例会委員会

～出欠の返事は確実にしよう～



# ●9月度例会●

## 会長挨拶



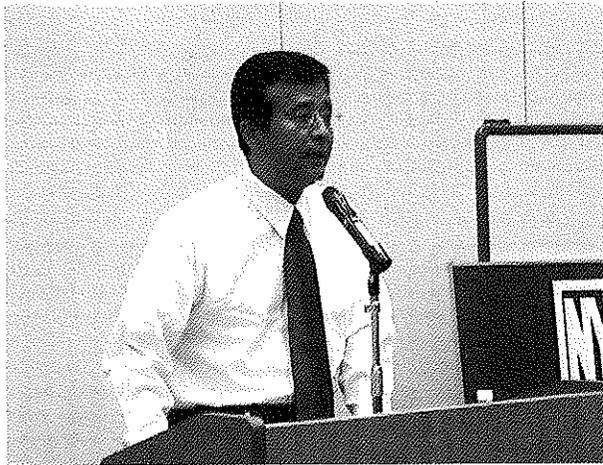
初秋の候、皆様方がお過ごしでしょうか。長崎の秋といえば、一番に来るのは、日本の三大祭りの一つであります「長崎くんち」ではないでしょうか。我々(社)長崎青年協会が「みんなで盛り上げよう長崎くんち」を合い言葉に、長年に渡り実施してまいりました「おくんち広場」も本年度も会員の皆様方をはじめ、協会のOBの方々、また多くの方のご支援のもと無事終了することが

できました。心より御礼申し上げます。

この会報誌がお手元に届くころは、会員の皆様には心地好い疲れでしようかまだ残っているとは思いますが、今年もこの経験を我々一人一人が皆の力で達成できたという喜びとともに、これから前進するためのエネルギーとして心に刻んでいただきたいと思います。そして、一番大切なのはこの事業を通して「会員同士の絆」が生まれることです。最後までやり遂げて頂いた皆様本当にお疲れさまです。

さて、本年度は、「日中国交正常化30周年」という記念すべき年で、喜ばしいことと思います。また同じくこの年に、先日より報じられているように「北朝鮮」との国交正常化に向けて、わが国が動き出したところ。過去の歴史、また報じられた事実等において、しっかりした回答が必要なものがあるわけですが、力強い「第一歩」が両国民にとって必要ならば、前向きに進むことも考えねばと思われま

## ～講師講演の内容～



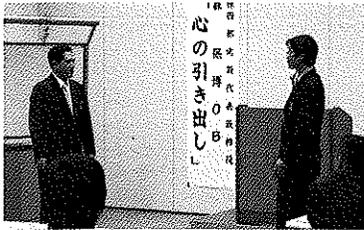
森保博OB……昭和60年7月入会。

平成5年(第25年度)会長歴任。現在は下西山町で(株)西都建設、古川町で日本料理「縁粋」を経営。

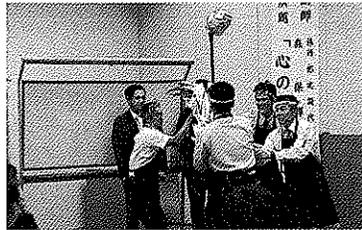
が増え良かったのか悪かったのか?しかし協会で学んだ事は『事業をすることが大切ではなくその過程が大切である』といかにも工程が大切な建設会社社長の言葉であった。また『事業で人間が見えてくる』とも話された。さらに飲食店に至るまでの苦労・経営拡大・失敗・復活を話され、平成10年に26年間勤務した住宅事業部長の地位を捨て『(株)西都建設』を設立するも、平成12年12月に飲食店を閉店。翌年『縁粋』を設立、現在に至っておられ、まじめに365日毎日仕事をし、『投げられたボールは投げ返す』ことで『人と人との絆が結ばれる』と確信しておられた。約60分のお話の後質疑応答があり無事終了した。印象に残ったのは、例会の最初から最後まで会場内に席を置かれていた事には身近なOBという感じがしました。長時間の講演誠に有難うございました。

昭和29年、御船蔵で生まれ西坂小・長崎中と義務教育を終了。この間新聞配達で家計を支えられた。物造りが好きで腕を磨きたく長崎工業高校の建築科へ進学。高校時代は夜に土木作業・飲食店でアルバイトをしながら自分で学費を支払っておられた。昨年他界された小学校の恩師に『お母さんは東京へは行って欲しくない』と言う、衝撃的な事実を聞かされ東京進出を涙ながらに断念し、地場大手の大進建設へ入社。佐世保・北九州・五島と現場を経験し25歳で結婚された。入会のきっかけは、以前アルバイトをしていた飲食店の思案橋店で夜間手伝うことになり、そこで田代OBと出会い、単に『面接に行ってくれ』という言葉で入会。おくんち広場での活躍から『おくんち広場の森』と言われる様になった。入会した事によって同級生との付き合いがほとんどなくなり、逆に新たな協会の仲間

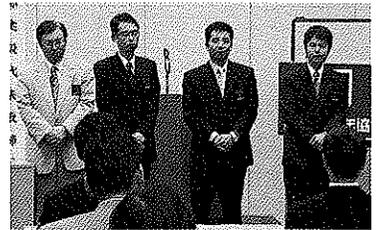
## ◀ 例会の様相 ▶



マエタケ・ヒロヤス コンビ



即席龍踊り



ハッピーバースデー

9月24日(火)、ブリックホールに於いて9月度定時例会が行われました。今年度の例会もこの例会で折り返しの6回目。憲章唱和・会長挨拶と続き、役員報告・委員会報告そして熱血委員会報告、「おくんち広場」をまじかにひかえ、一段と気合が入ってきた前田室長と新人廣島君はコント風に、地域社会委員会のメンバーは「手作り龍踊り」でおくんち事業への参加を会員に熱く呼びかけました。休憩を挟み講師講演。今回は森OBに「心の引き出し」と言う演題で講演をしていただきました。その後、質疑応答。4名の会員が興味深かったお話について質問。講師退場の後、熱闘3分間PR、誕生者祝い、青年協会の歌を歌い、最後には今年度の例会の「締め」 青年協会ファイト! で終了しました。



ファイト〜!オ〜ッ!

## 熱闘3分間PR



行政書士 酒井 真 君

今回の熱闘3分間PRは、行政書士の酒井真君が行政書士とはどんな仕事をするのか?と言う題目で話をしていただいた。その仕事内容とは大きく言って、役所等に提出する書類の代書だそうです。役所に提出する書類は個人でも書いて提出することは出来るが、たいがい窓口で返される事が多く、何度か書き直して提出しても返されるそうで、不備な点も教えてくれないそうだ。そういった手間を省く為に代書人がいる。青年協会でも代書を出来る方は山口OB・下釜OB・酒井君がいます。それぞれ得意な分野があると言うことなので、誰に聞いたらいいかと思うことがあったら誰かに尋ねたら得意な分野の方を紹介して頂けるので気軽に相談してくださいとのことです。

## 出席率(9月度)

役員・監事		総務例会		広 報		研修開発		交 流		地域社会		合 計	
10/10	100%	5/8	62%	3/11	27%	4/10	40%	6/12	50%	5/12	41%	33/63	52%

## ◀ 二次懇親会の様相 ▶

ブリックホールでの例会終了後、個人個人てくてく歩きながら二次懇親会会場のKOUKAENへ移動した。井手監事の司会で、前田企画調整室長の音頭の元、『おくんち広場』の意気込みを語った後出席者30名で乾杯をし懇親会が始まった。講師の森OBも参加して頂き、会員それぞれが個人的に話しを伺いながら、美味しく杯を酌み交わしていた。懇親会の途中井手監事の考えたゲームで盛り上がり、楽しい時間が過ぎていった。いつものことながら、協会の事で熱く語り合う仲間と仲間。あちらこちらで白熱した議論がなされていた。最後に締めの音頭を森OBをお願いして1本締めで締めくくり懇親会は終了した。

# おくんち親睦祭の様様

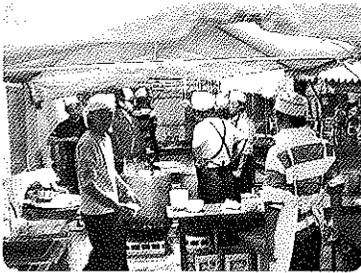
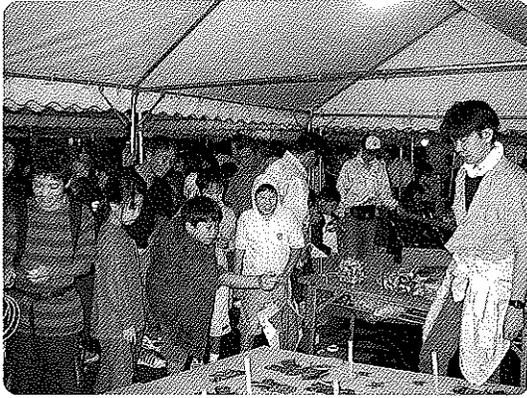


10月6日(日)あいにくの雨の中『NYAおくんち広場親睦祭』が開催された。残念ながら『十善寺龍踊り』をはじめ、さまざまな企画は中止となったが約280名の招待客で賑わった。

子供達は食事よりもゲームブースでの遊びが楽しい様子で、ポテトやウインナーを片手に笑顔が素敵だった。

青少年育成事業の伊王島体験キャンプに参加した子供の保護者から、「このような企画があっているとは知らなかった。自分たちの子供の頃に遊んだゲーム等なかなか今の時代にはない素朴な遊びが非常に楽しかった。夏のキャンプにしろ今回にしろ皆様の活動は、本当に地域社会に貢献していますね」と嬉しい言葉も頂いた。

当日の天候で、実行委員の決断は、非常に苦しかったことと思いますが、結果的には大成功となった。



### 招待団体からのコメント

•長崎ふうせんバレーボール振興委員会&ドリームハート

雨が降ってもやるとの連絡が嬉しかった。ビンゴが当たらず残念です。

•マリア園

毎年有難うございます。約30名来ております。他の対外的交流は老人ホームの訪問や、ボランティア活動をやっているが障害者との交流はあまりないので良い経験となります。ただ今日は雨が残念でした。来年も宜しくお願いします。

•フリースペースの会

毎年有難うございます。本日は雨で車椅子の方々来れず、また駐車場も満車で帰られた方もかなりおられました。駐車場の確保は今後検討をしてみたいです。協会活動は『おくんち広場』に限らず、大変感謝しております。今後も頑張るってまた来年も宜しくお願いします。

•つくしん坊の会

私共は2回目の参加ですが、子供たちが楽しみにして来ました。今日は雨で非常に残念でしたが、これはこれでまた楽しいようです。子供たちが遊べるゲーム等があるので引率者としては随分助かります。またもう少し小さい子供たちもいるので可能であれば、昼の部・夜の部と2部構成も良いかと思えます。本日は有難うございました。

## おくんち広場安全祈願祭&全体設営

9月27日(金)江戸町公園において11:00よりおくんち広場の安全祈願祭が、淵神社の禰宜 下條一仁氏を招いて行われた。当日は雨が降りそうな曇り空。それでも前田君の日頃の行いが良く雨も降らず田川会長以下9名の理事者が出席して、安全祈願祭は滞りなく終了した。いよいよこれからおくんち広場が始まると皆改めて気を引き締めていた。



### 全体設営



さすが堀田君 手慣れたもの



仁です 本業は寿司職人です



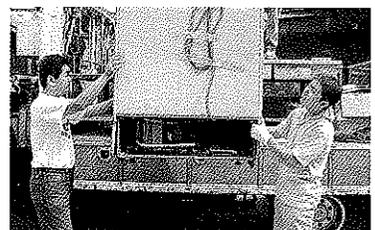
新人の瀬戸口君「考える人」状態



武田君も仕事に比べりゃ楽勝～



文科系の末石君 頑張ってます



冷蔵庫って軽いね! 吉野&健太郎

9月28日(土)・29日(日)の2日間おくんち広場の全体設営が江戸町公園にて行われた。1日目は参加者21名で12:00より開始。2班に別れ作業に入った。1班はテント張り・もう1班は十善寺地区の机・椅子を借りに行った。テントを15張り張ったのと同時に十善寺地区に行っていたグループが帰って来た。皆と一緒に机・椅子をトラックから降ろした後、机の組み立てにはいった。一段落した後事務局に少しの備品を取りに行き、公園に戻り作業をし、18:00に1日目の設営が終了した。

2日目は参加者18名で9:00より開始。最初に事務局より1時間強かけて冷蔵庫・フライヤー等の食品ブースで使う重たい物を運び出した。さすがに皆疲れがきているせいか動きが鈍い。

公園へ運び終わると丁度お昼。昼ご飯を済ませ再び作業開始。ここで2班に別れた。1班は事務局で鐘たたき用のクッション代わりにするゴミの袋詰め作業・もう1班は寺本君宅へ足りない備品を取りに行った。皆が公園に戻って休憩後いよいよゲームブースの設営に入った。鐘たたきのブースの設営に単管を組み約2時間かけて完成。まだまだおくんち広場の全体像は見えていないが50%は完成した。この日は17:00に終了した。皆さんお疲れさまでした。

## 選挙管理委員会設置

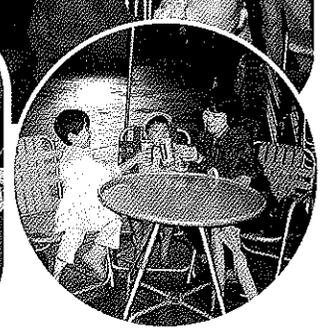
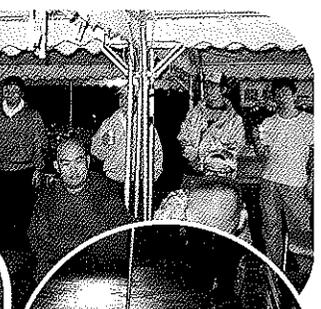
諸規則「役員選任に関する規則」第4条による選挙管理委員が9月17日の理事会で決定し、互選により寺本副会長が委員長に決まった。

選挙管理委員会は会長選挙に当たり、10月1日に告示し、10月21日の臨時総会にて投票が行われる。

委員は次の通り。

委員長 寺本正弘君(副会長)、三谷勝大君(総務例会)、橋田徳之君(広報)、小川 順君(研修開発)、中村秀平君(交流)、大隈信一君(地域社会) 以上。

～ アルバムのページ ～



# 今月の誕生者

- ☆吉野 忠幸君 昭和39年10月28日生 (平成6年4月入会・在籍8年) 38歳
- ☆宮崎 健太君 昭和42年10月13日生 (平成11年5月入会・在籍3年) 35歳
- ☆山口健太郎君 昭和47年10月4日生 (平成11年7月入会・在籍3年) 30歳
- ☆大隈 信一君 昭和44年10月2日生 (平成12年4月入会・在籍2年) 33歳

# 新人紹介

セトグチ マサズミ  
瀬戸口 政純 君 (研修開発委員会付)

昭和44年12月1日生 32歳 O型 既婚

仕事: 新日本総研有限会社 (平間町)

WITHビルで居酒屋をやっています。一杯飲みたくなったらぜひお立ち寄りください。

趣味: テレビゲーム

一言: 一生懸命がんばります。

第一推薦者: 馬渡鉄洋君

第二推薦者: 泉 栄吉君



## 会員の桂君、柔道で全国大会へ進出

～マイナス73キログラム以下級～



11月上旬、東京講道館にて試合。目標は優勝。

得意技、背負い投げと巴投げ。

毎夜練習でほとんど委員会活動(広報)に参加できておりませんが、委員会の皆様のご理解で長崎県代表になることが出来ました。全国大会が終了したら協会活動に一生懸命取り組みますので宜しくお願いします。

- 11月の行事予定** 5日(火) 理事会 10日(日) 家族懇親会 (市民の森・予備日17日)  
15日(金) 理事会 21日(木) 臨時総会 (ホテルニュー長崎)
- 11月度事務局清掃担当委員会** 交流委員会 **二次懇親会担当委員会** 地域社会委員会

# 編集後記

10月にはいとしゃぎりの音が聞こえはじめ、いよいよ長崎は諏訪神社の大祭『長崎くんち』が始まる。長崎青年協会もそれにあわせて『おくんち広場』の準備が始まる。協会に所属している自分が言うのもなんだが、親睦祭からの4日間はまさに青年協会魂の見せ所と自負している。この自負心をこれから先も持ち続け、協会活動に万進していきたい。

そして、衝撃的な事件が鶴の港で起こった。『ダイヤモンド・プリンセス』の大火災。7～8割の完成度であった。世界最大級の豪華客船、誰があのような光景を想像出来ただろうか? 『クリスタル・ハーモニー』『飛鳥』に続く大型客船の建造は長崎人の誇りでもあった。誠に無念である。一夜明けて見た船は右に傾き全国各地から建造の為に集まった職人の汗は大粒の涙と変わった。再び早期の復活を願うのは長崎人全員の思いではなかろうか。

発行 社団法人長崎青年協会 会長・田川清浩 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階  
TEL 095-821-1625 FAX 095-823-7375

編集 広報委員会委員長・仁藤和彦 副委員長・三瀬健司 福田増幸 広瀬健司 岸本純孝  
福島広之 中尾 仁 岩口信美 桂 雄剛 片岡浩一 橋田徳之

印刷 昭英印刷有限会社 長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231